

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2008-179100

(P2008-179100A)

(43) 公開日 平成20年8月7日(2008.8.7)

(51) Int. Cl. F 1 テーマコード (参考)
 B 4 2 D 15/02 (2006.01) B 4 2 D 15/02 5 0 1 B 2 C 0 5

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 12 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2007-15837 (P2007-15837) (22) 出願日 平成19年1月26日 (2007. 1. 26)</p>	<p>(71) 出願人 592093268 コーホク印刷株式会社 岡山県岡山市高柳東町10番27号 (74) 代理人 100088993 弁理士 板野 嘉男 (74) 代理人 100107917 弁理士 笠原 英俊 (72) 発明者 藪野 唯展 岡山県岡山市高柳東町10-27 コーホク印刷株式会社内 Fターム(参考) 2C005 WA03 WA06</p>
--	--

(54) 【発明の名称】 ブックタイプの圧着往復はがき

(57) 【要約】

【課題】 情報量を多く記載でき、しかも扱い易さと低コスト可を可能にするブックタイプの圧着往復はがきを提供する。

【解決手段】 縦の折線(1)(2)を境として横に三枚綴りとなったA紙と、同じく縦の折線(10)を境として横に二枚綴りとなったB紙を所定に貼り合わせて構成されるブックタイプの圧着往復はがきであり、A紙の表面の右葉(5)とB紙の表面の左葉(11)を完全接着して返信はがきにするとともに、A紙の裏面の中央葉(7)と右葉(8)との折線(1)を谷折りしてそれぞれの端(16)を完全接着し、完全接着以外の部分の中央葉(7)と右葉(8)を擬似接着する一方、A紙の表面の中央葉(4)とB紙の表面の右葉(12)を擬似接着して往復はがきとし、谷折りした折線(1)の部分を分離する他、A紙とB紙の擬似接着面を剥がすと、返信はがきに連なってA紙とB紙が往復はがきのあて名欄を含む個人情報記載欄である三葉のブックとなることを特徴とするブックタイプの圧着往復はがき。

【選択図】 図5

